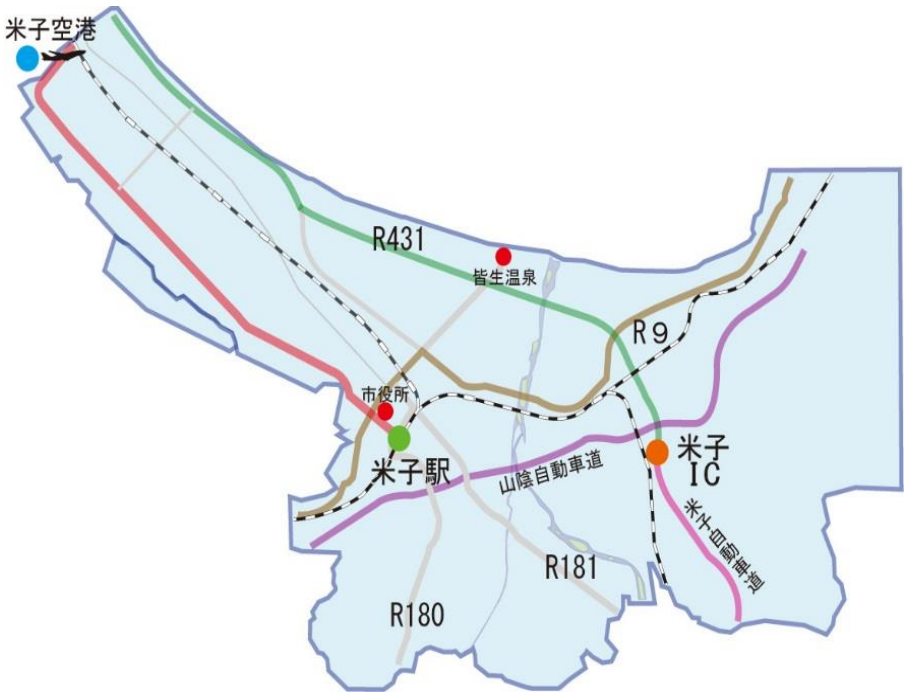
Local Energy
ローカルエナジー株式会社

「よなごエネルギー地産地消・資金循環構築事業」

平成30年9月28日（金）

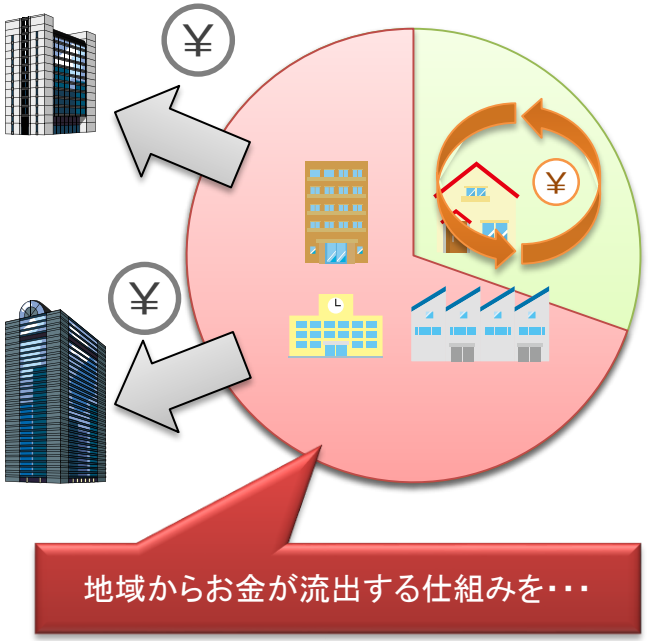
米子市経済部経済戦略課

米　子　市



総面積　：　132.21 ㎢
人　口　：　148,005人
世帯数　：　66,171世帯
（平成30年3月31日現在）

ローカルエナジーが目指す 地域内資金循環



電力小売・卸売

地域熱供給

電源熱源開発

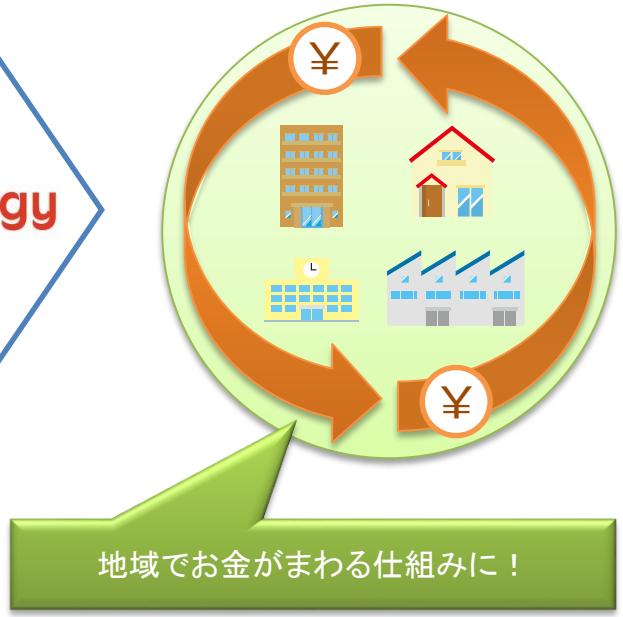
省エネルギー改修

Local Energy
ローカルエナジー株式会社

次世代エネルギー実証

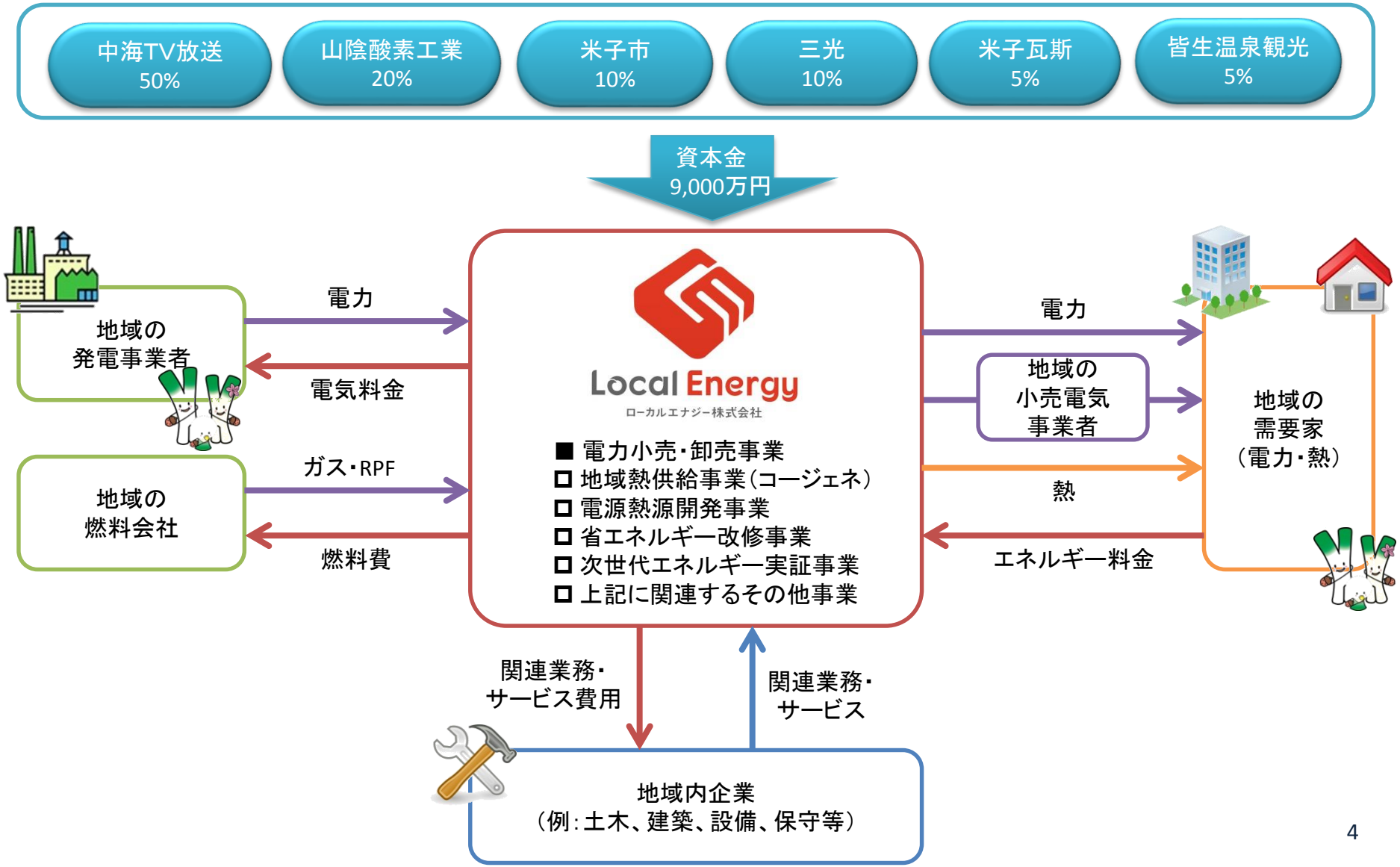
コンサルティング

視察受入



■ 地域エネルギー会社設立前では、電力の消費、電力関連企業への投資が地域外企業へ流れている。

ローカルエナジーが目指す 地域内資金循環



ローカルエナジーの事業領域

電力小売卸売事業以外にも5つの事業領域を定款に定めている

当社の６つの事業領域

ローカルエナジーの特徴

①出資は、地元企業と地元自治体のみ

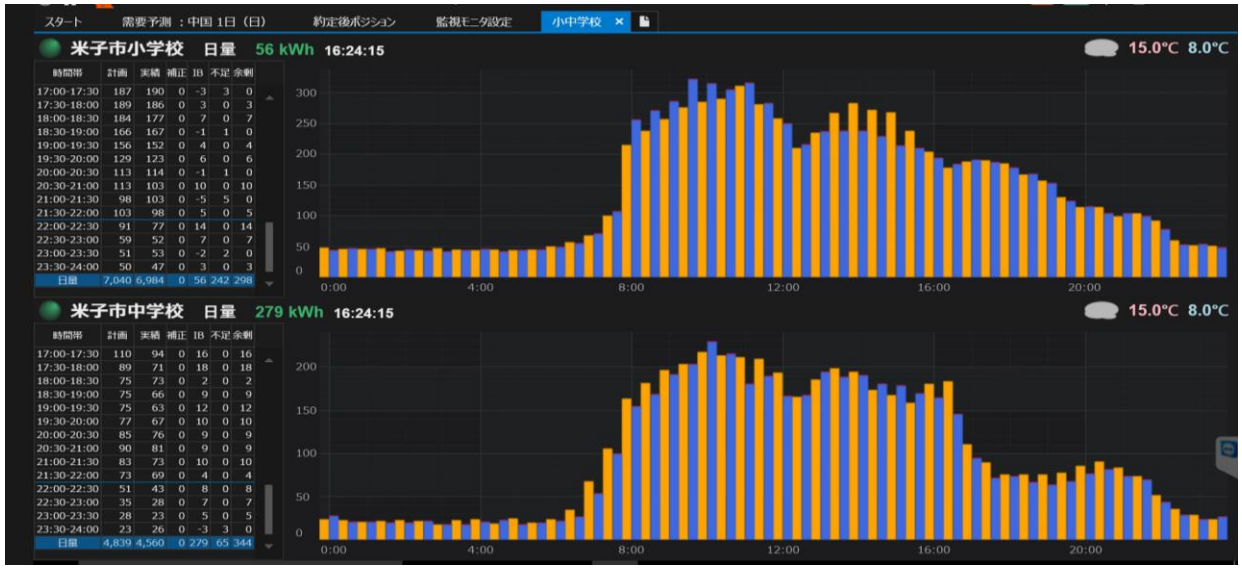
②電源と供給先が、ともに地域重視

③需給管理は、自前で行い委託しない

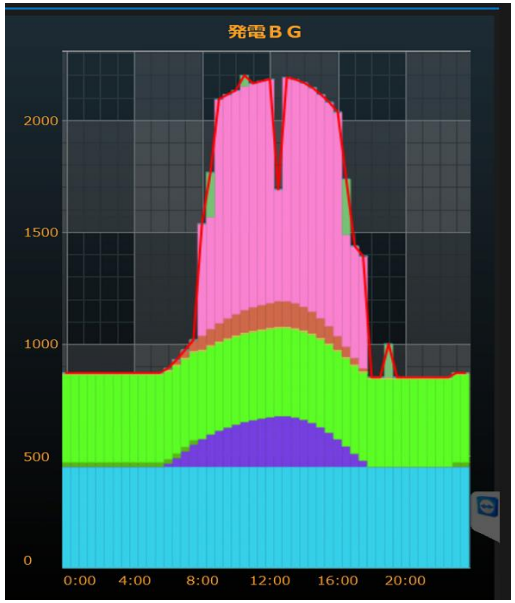
④常時バックアップを、受けていない

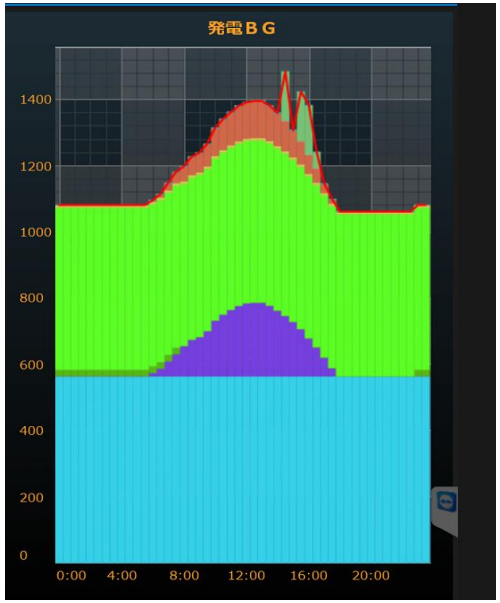
米子市の電力需要曲線（ある一日）

市内小中学校
電力需要曲線
12月某日



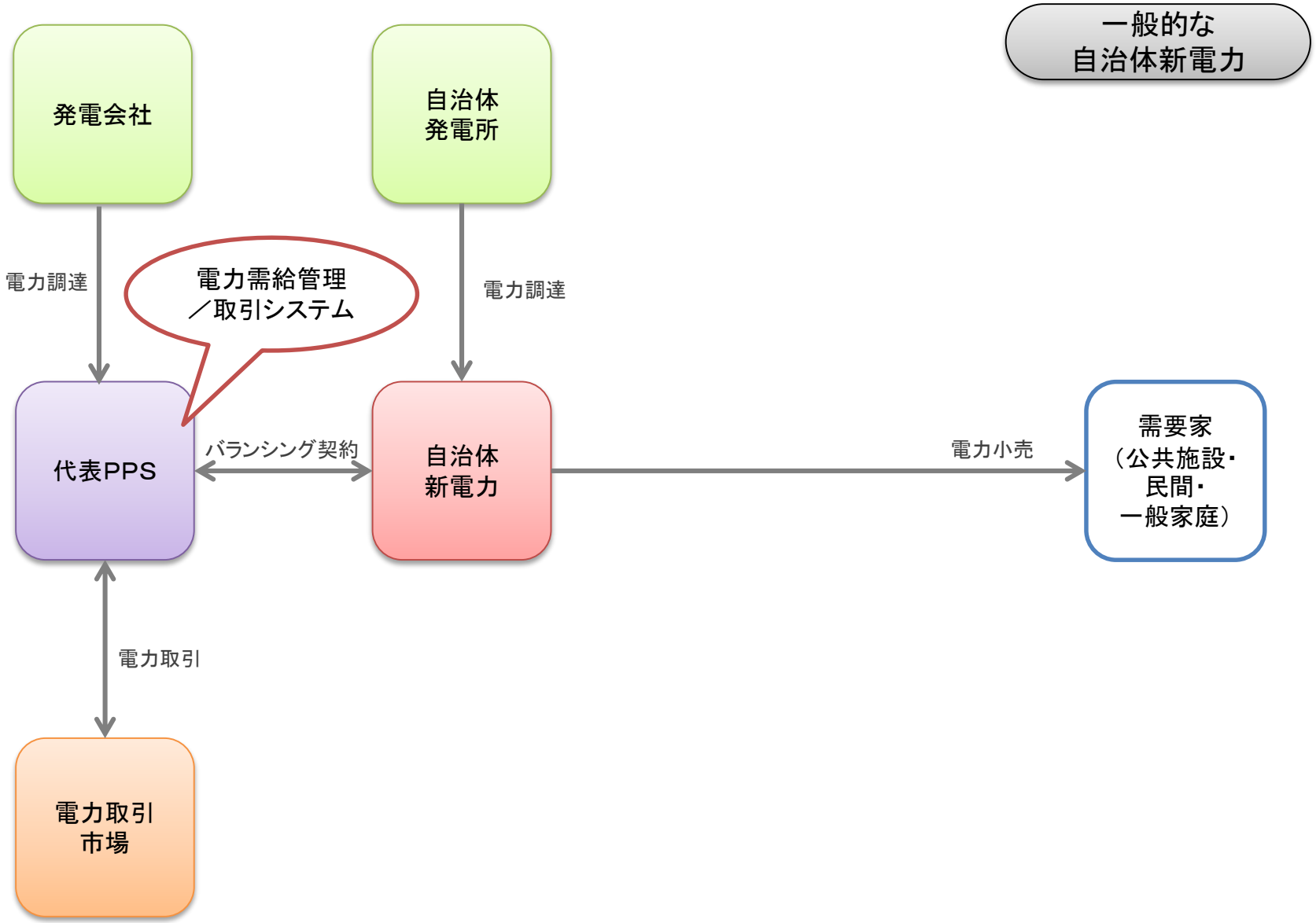
発電バランシング
グループ　9月某日



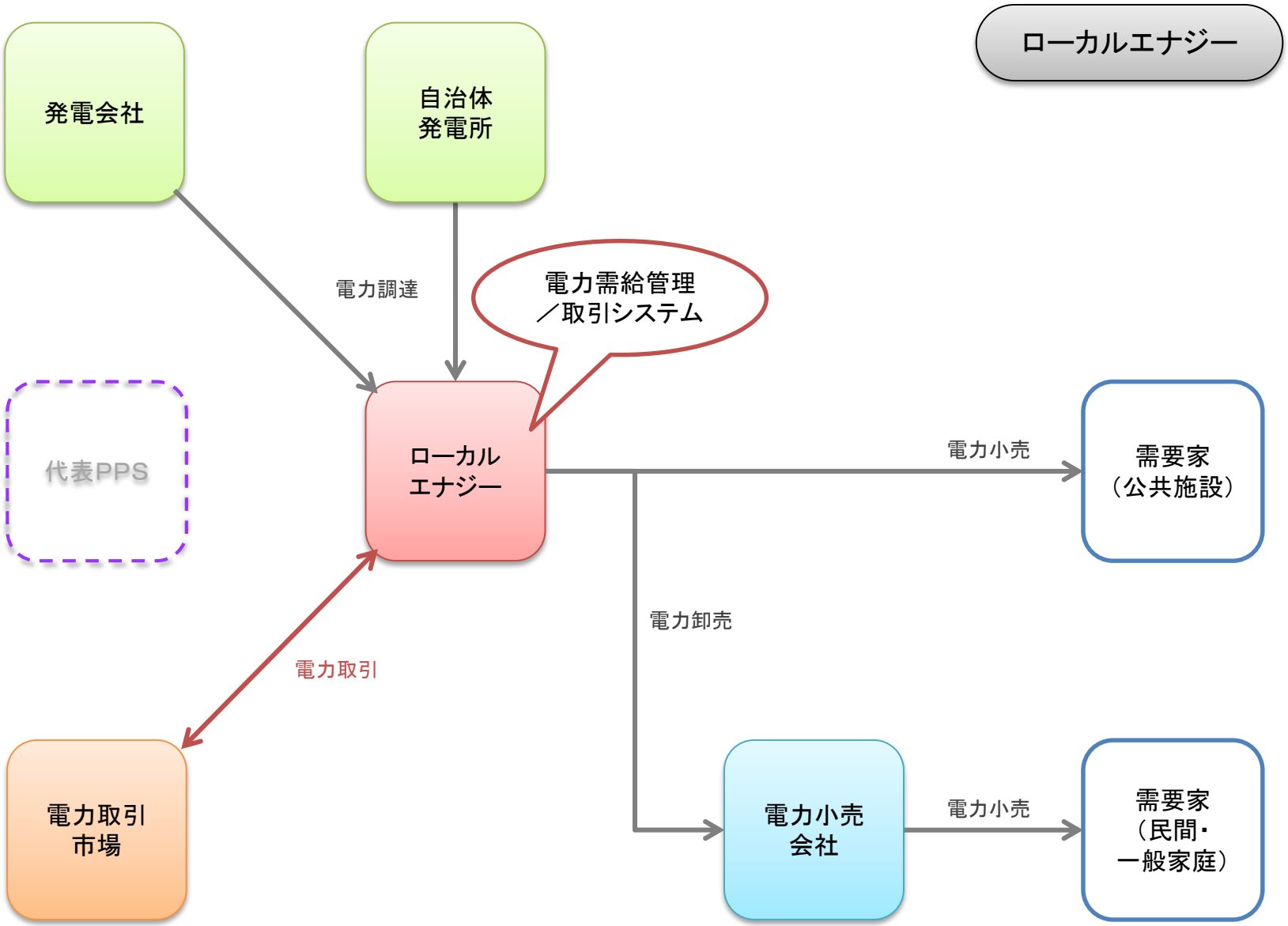


発電バランシング
グループ　9月某日

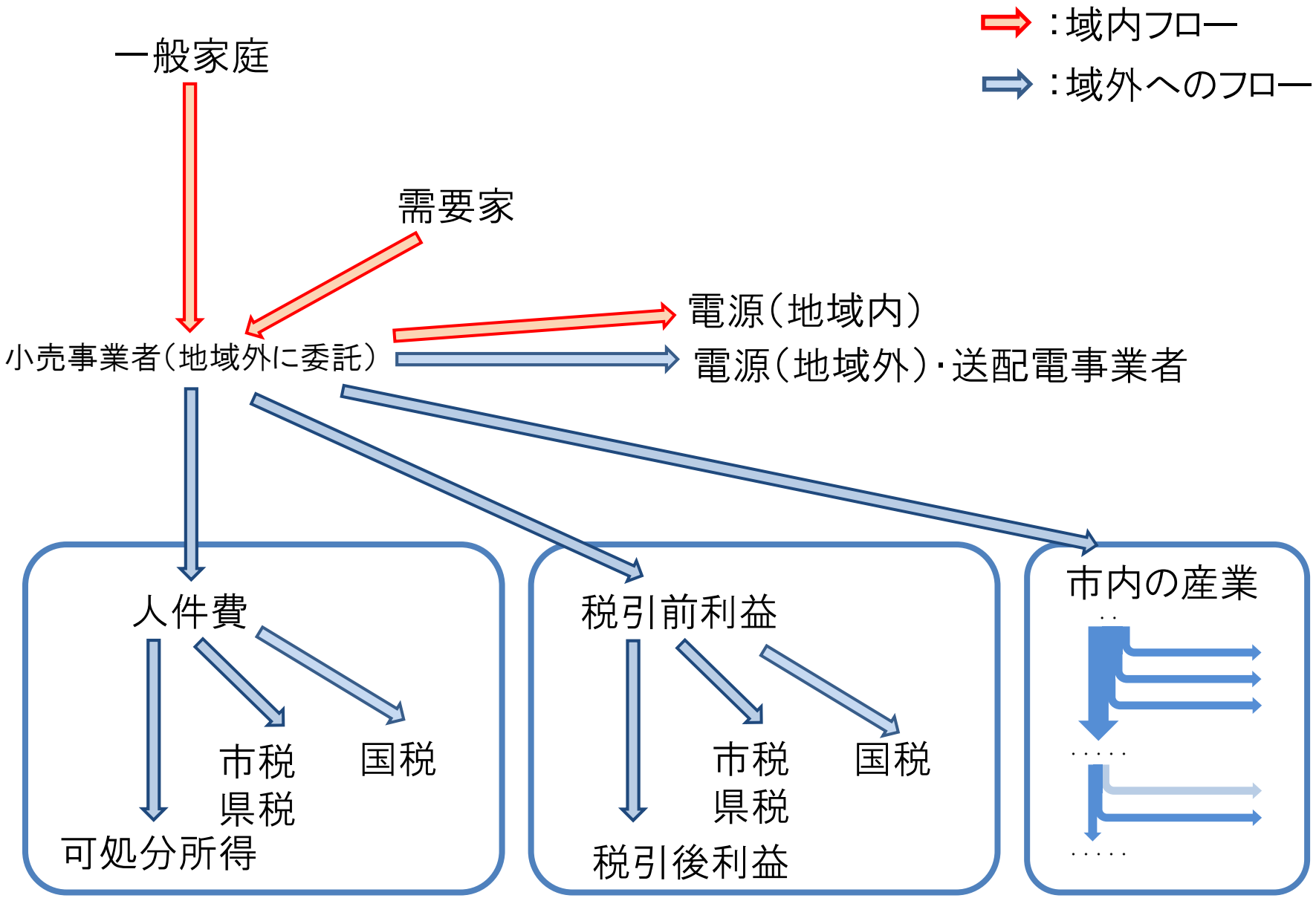
事業スキーム（一般例）


一般的な
自治体新電力
発電会社
自治体
発電所
電力調達
電力需給管理
／取引システム
電力調達
代表PPS
バランシング契約
自治体
新電力
電力小売
需要家
（公共施設・
民間・
一般家庭）
電力取引
電力取引
市場

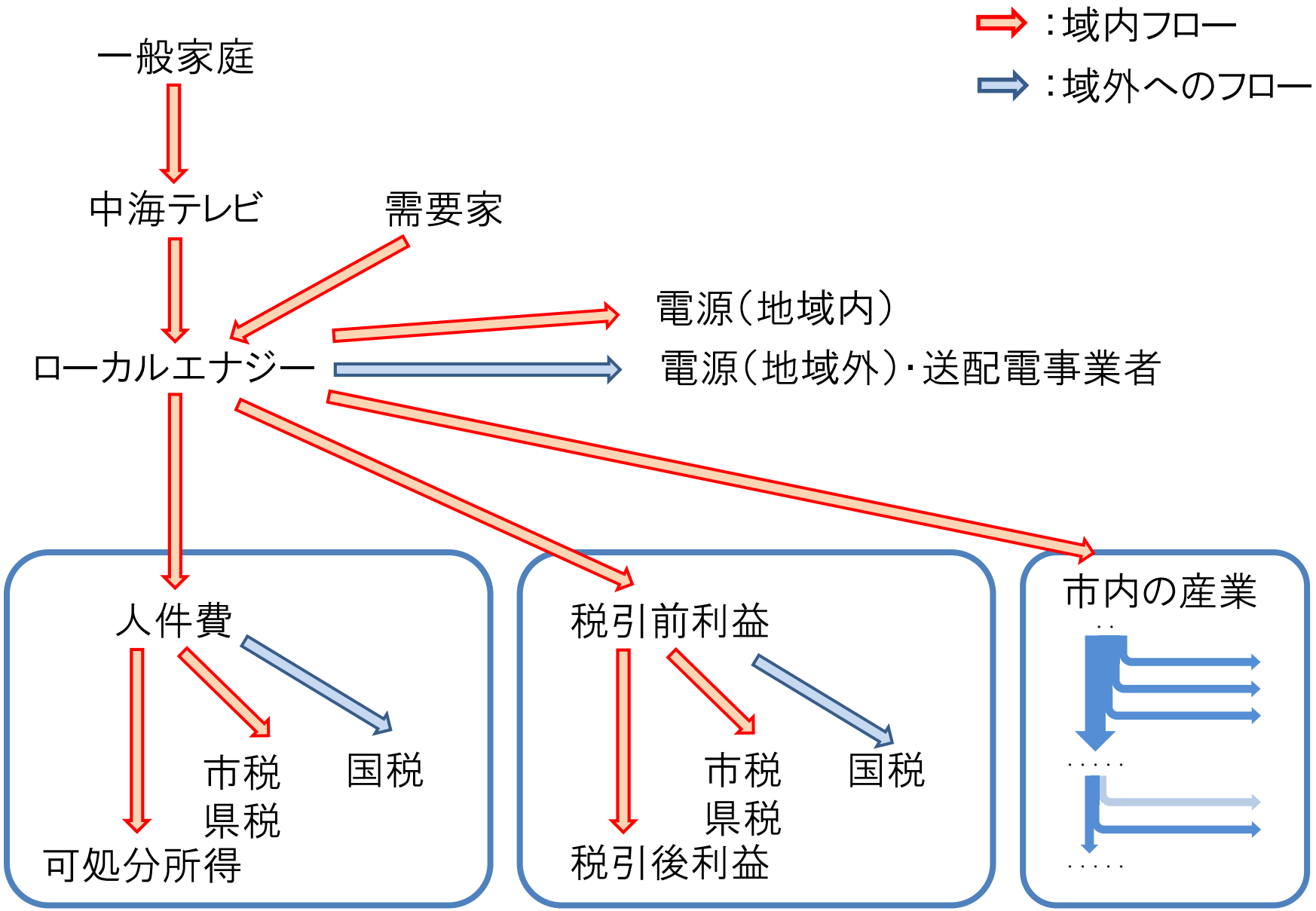
事業スキーム（ローカルエナジー）



地域付加価値額のバリューチェーン（一般例）



地域付加価値額のバリューチェーン（ローカルエナジー）



ローカルエナジーによる地域経済への波及効果

実質的な事業初年度の28年度から、「単年度黒字」達成！

① 雇用創出効果

直接雇用 6名、間接雇用 14名

② 行政コストの削減効果

米子市公共施設の電気料金
一般電気事業者との比較削減額
比較削減率

ローカルエナジーの課題（事業立ち上げ時）

① 地域電源の確保等のソーシング

② 需給管理業務を行うシステム選定、人材育成

③資本金の額、出資比率の配分決定

④スタートアップ時の需要家の確保

ローカルエナジーの課題・リスク（現在）

課題① 需要家拡大に伴う新たな地域電源の確保

課題② 地域内でのロイヤルティ(loyalty)の獲得

リスク① トップ交代や人事異動による米子市の方針変更

リスク② 制度改革にともなうビジネススキームの再構築

今後の展開

①地域熱供給事業

②電源開発事業

③ネガワット、VPP事業

④省エネ改修事業